

令和2年9月25日

福知山市議会議長 芦田 眞弘 様

総務防災委員会委員長 森下 賢司

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第71号 物品の取得について
- ・議第72号 物品の取得について
- ・議第73号 京都府中・北部地域消防指令事務協議会規約に関する協議について

2 審査の概要

9月15日に委員会を開催し、市長公室、市民総務部及び消防本部から議案について詳細な説明を受け、議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第71号の防災行政無線デジタル式戸別受信機について、「6月議会で取得した際と落札業者が同じなのであれば、随意契約は考えなかったのか」を問う質疑に対し、「広く業者を募集するという考えで一般競争入札にした」との答弁がありました。

次に、議第72号について、「小型動力ポンプ付積載車の耐水及び防水性能」を問う質疑に対し、「浸水害対応仕様ではないが、消防団には浸水時の活動要領に基づく活動で安全に対応してもらっている」との答弁がありました。続いて、「車両を配置する分団」を問う質疑に対し、「中央・修斉・西中・下六・金谷の5分団である」との答弁がありました。

次に、議第73号について、「緊急出動は迅速な対応が求められるが、共同運用により即応力は維持できるのか」を問う質疑があり、「発信地表示システムやGPSにより瞬時に場所の特定が可能なシステムとなる。事前に十分な研修も行い、対応に大きな問題はないと考えている」との答弁がありました。続いて、「指令に関わる職員の減員と、住民の命を守ることとの関係についての考え方」を問う質疑に対し、「本市の場合、指令に関わる職員は8名から4名に減員になるが、その4名は効率配置により警防課や予防課に再配置でき、両課の充足率が上がる。職員定数に変更はない」との答弁がありま

した。

その他、報第 6 号についても所属部署から詳細な説明がありました。

反対討論

議第 7 3 号について、消防出動指令は地域全体を熟知しなければ時間がかかる恐れがある。広域災害時には、各消防本部からの集合にも時間を要し、危険も伴う。広域化により出動が遅れて人命にかかわる恐れもあり、地域レベルで対応する体制が求められる。財政面や効率化を最優先する広域化は、人命を守る消防業務を二の次に考えるものであり、反対である。

賛成討論

なし

3 審査結果

- ・議第 7 1 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 7 2 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 7 3 号 賛成多数で原案可決